

福岡県における学校健診の実施方法に関する

考え方について

福岡県医師会では、学校健診の実施方法に関する実態を把握するために、県内の内科健診を実施する学校医約1,300名を対象に調査を実施しました。その結果（回答数：753名、回答率：58%）、うち約8割が「着衣」で健診を実施しているという回答でした。

■ 調査結果を受けて

健診の実施方法については、児童生徒のプライバシーの確保や正確な診察・検査の実施のために、**学校と学校医で検討した上で決定し、その内容については、児童生徒や保護者の理解を得るために十分に説明することが望ましい**ことから、以下のとおり、「着衣」及び「脱衣」で実施する場合の留意点や主な工夫例をお示しいたしますので、ご参考にさせていただきますようお願いいたします。

なお、適正かつ円滑な健診の実施のために、健診の意義の理解促進を図ることが重要であると考えます。

■ 「着衣」で実施する場合

【 留意点 】

- **学校**は、児童生徒や保護者に対し、児童生徒のプライバシーの確保のために着衣で実施する場合の支障等を考慮した実施方法について理解を得るように努めてください。
- **学校と学校医**は、健診を実施する際、診察の方法を工夫するなど正確な診察・検査の実施に努めてください。

【 主な工夫例 】

- 水着やエプロンを着用の上実施する
- 上半身は下着を着用し、背中側から診察する
- 診察時に心音等を聞くための聴診スペースを作れるように補助者をつける
- 下着のみ着用で実施する場合、側弯のチェックがしやすい方法としてキャミソールでなくブラジャーを着用する

■ 「脱衣」で実施する場合

【 留意点 】

- **学校**は、児童生徒や保護者に対し、正確な診察・検査の実施のために脱衣で実施する意義に関する理解を得るように努めてください。
- **学校と学校医**は、健診を実施する際、体が周囲から見えないようにするなど児童生徒のプライバシーの確保に努めてください。

【 主な工夫例 】

- 周囲から見えない所で脱衣をする
- 脱衣後はバスタオルを肩から掛け、胸部を覆うなどし、診察時のみ看護師等がバスタオルを広げて持つようにする
- 体操服の両腕を抜いて首に巻いた状態で実施する
- 養護教諭等の立会いのもと実施する